

# Shake Hands 常滑国際交流協会

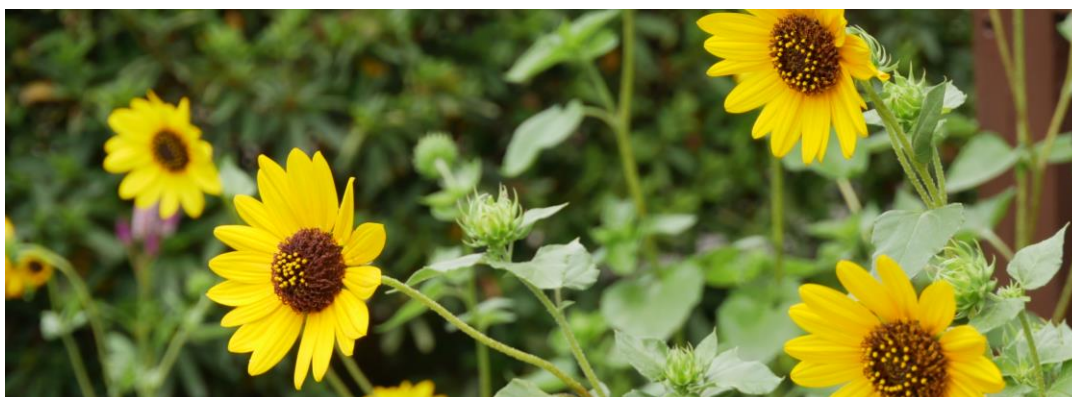


第128号 2021年8月20日発行

〒479-0837 常滑市新開町5-58 電話・FAX：0569-34-4797

E-メール：ホームページ：http://www.japan-net.ne.jp/~tia/

## Shake Hands 128 p.1



## 2021年度 第2期 英会話講習のお知らせ

常滑国際交流協会では、私達に一番身近な外国語である英語を使って有意義な国際交流が出来ることを目指して「英会話講習」を行っています。下記により2021年度第2期の「英会話講習」の受講者を募集しますのでぜひご参加下さい。

記

第2期日程：毎回水曜日、(全12回)

9月22日、9月29日、10月6日、10月13日、10月20日、10月27日  
11月10日、11月17日、11月24日、12月1日、12月8日、12月15日

時 間：午前10時～12時

場 所：中央公民館(9月22日～10月13日)とこなめ陶の森資料館講座室(10月20日以後)

講 師：(H. E. ART 英会話) Jason Ford 氏 ・ 他

募集人員：24名(定員になり次第締め切ります。)

参加費：12,000円(常滑国際交流協会の会員は10,000円)

テキスト：第2期当初は前期のテキストの未修分を使用し、その後に新テキストへ移行します。

新テキストの価格は約2,860円です。

\*常滑国際交流協会の個人会員の年会費は2,000円です。

\*まだご入会いただいていない方はぜひこの機会にご入会下さいますようお願い申し上げます。

**申込み：常滑国際交流協会へ氏名・住所・電話番号・メールアドレスをご連絡下さい。**

〒479-0837 常滑市新開町5-58 常滑商工会議所内 **常滑国際交流協会**

電話・FAX 0569-34-4797 メールアドレス [tia@japan-net.ne.jp](mailto:tia@japan-net.ne.jp)

## 2021 年度コロナ禍での常滑国際交流協会の活動について

2021 年 8 月 10 日

昨年来、常滑への外国からの訪問者はほとんど無くなり、私達の活動も会議、講習などを含めて極めて不自由な状態が続いています。このコロナ禍はまだまだ続き、いつか終息するでしょうが、世の中は以前のように戻ることは無いと思われます。コロナ禍の後、常滑で本当に必要な活動を見据えて行きたいと思います。今年度の当協会の状況を報告致します。

### 1. 2021 年度総会

#### 2021 年度総会の表決報告

コロナ禍の状況がより深刻さを増し、会場の予約も困難なため、検討の結果今年度も昨年と同じように、理事会・総会共に資料の郵送と葉書返信という形にして5月20日頃発送しました。

以下は6月20日までの返信の集計です。（発送数131通、返信数66通でした。）

第1号議案	2020年度事業報告及び会計報告	異議なし	63	異議あり	0	無記入	3
第2号議案	2021年度事業計画及び予算案	異議なし	62	異議あり	0	無記入	4
第3号議案	2021年度役員名簿	異議なし	62	異議あり	0	無記入	4

上記のように全ての議案は可決されました。

ご協力ありがとうございました。

### 2. 英会話講習

第1期の英会話講習は文化会館第3練習室、中央公民館視聴覚室、学習室とその時予約ができた会場を利用し予定の12回の講習を終了しました。参加者は21名、出席率は87%でした。

第2期の会場は10月前半まで常滑市文化会館第3練習室、10月後半から陶の森資料館の講座室を予定しています。

### 3. 英語ガイド講習

コロナ禍が終息しても当分の間は海外からの観光来訪者が見込めないため、「英語ガイド講習」は、従来の方法ではなく、日本や常滑の情報を発信することを検討中です。

### 4. English Speakers

会場が商工会議所東館、中央公民館、陶の森陶芸研究所会議室など毎回のように変わっていますが、毎月、第1、第3土曜日 13:30~15:00 に開催しています。

### 5. 運営委員会

商工会議所東館が利用できないので、6月にオンライン運営委員会を試し7月はオンライン併用で実施しました。

### 6. 事務局

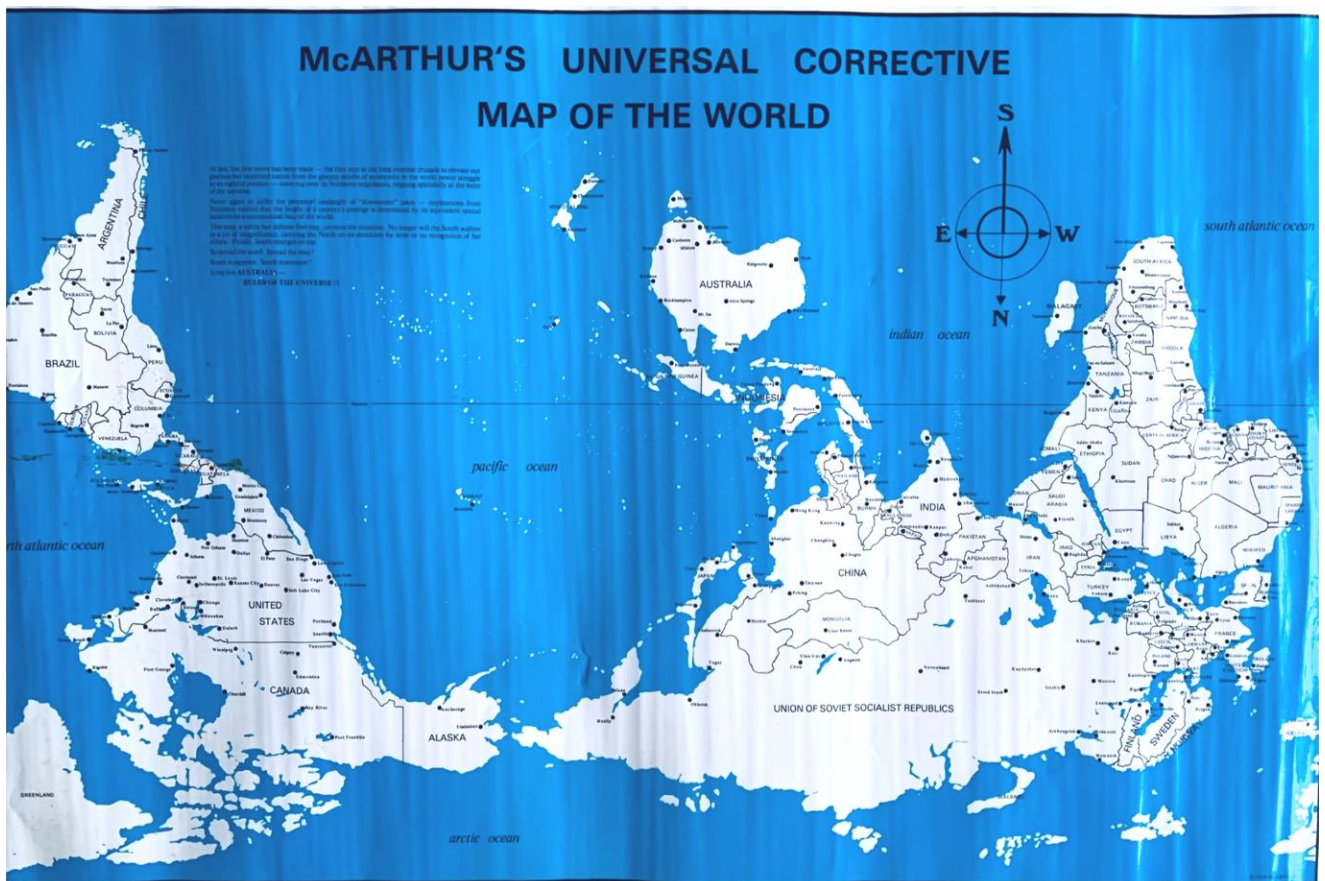
通常通り毎週火・水・木の3日間の 13:00~16:00 開設しています。

この写真は常滑国際交流協会の発足当時の事務局の壁面に掲示してあった地図です。多分誰かがオーストラリアへ行った時に入手した物だろうと思います。この地図はご覧のように南北が逆になっています。ロシアが UNION OF SOVIET SOCIALIST REPUBLICS (ソヴィエト) と表記されていますので 1991 年のソ連崩壊以前の時代の地図でしょう。

南北が逆になっているので、私たちの「世界地図の常識」と異なり居心地の悪い違和感を感じます。何故居心地が悪いと感じるのでしょうか。私達は地図では「北が上」と思い込んでいるためでしょう。多くの世界地図は「ヨーロッパ（西欧）が中心となっている」こと、そして地図の経度の基準点がロンドンのグリニッジにおかれたことにより「北が上」が常識のようになったのでしょ。

近東、中東、極東と言うこともヨーロッパから「東」の度合いを表しています。この地図では日本は左右の中央にあります、これはオーストラリア製の地図で、オーストラリアと日本がほぼ同じ経度に位置しているためでしょう。欧米の地図では右端（つまり東端）に印刷されています。経度の上で自国を中心におくという発想は、多くの国で作られる世界地図に共通しています。世界地図の「常識」は、自国中心主義なのです。「地図」に国や地域のものの見方や考え方が刷り込まれているということで「文化」が表現されているのです。

異なる「文化」による地図に違和感を感じたということですが、「異文化」は外国人と日本人の間だけにあるのではなく、日常のありふれた事物の中にも、いくらでも「異文化」を発見することができます。南北逆転の世界地図が発信するのは「異文化間コミュニケーション」のカルチャーショックだと思います。





## 海外見聞録 part1

澤田 治

この **Shake Hands** をご覧のみなさんは、「在外教育施設日本人学校」という存在をご存知でしょうか。通称では「海外日本人学校」と呼ばれます。海外に支社があり赴任の可能性がある。かつ学齢期のお子さんがいらっしゃる方以外には、ご興味がないかと思います。

このような学校は当初アジア圏を中心に開校され、現在では全世界に全日制の学校が95校、週末あるいは平日の午後を開校する補習授業校が230校あります。基本的に文部科学省の所管ですからカリキュラムは日本の学校と同一で、小1から中3まで在籍し、日本から教員経験者が派遣されます。

現地の学校設立基準などから、その国の公用語授業と英会話授業などが小学校の低学年から入ってくる場合があります。例えば、アラブ首長国連邦ではアラビア語、メキシコではスペイン語などです。帰国後に即応できるように開校されたわけですが、昨今の高校入試事情により中学校2年生の終了で帰国し、受験に備える例が増えていて中3生が減少しています。そのため残念ながら家族離れ離れの単身赴任になる家庭が多くなっています。

上記のように言うと、完全に日本人の子弟ばかり・・・と思われがちですが、日本との交流や将来的な日本の企業との取り組みを鑑み、両親ともに日本語を話せないながらも、児童生徒を日本人学校に通学させるという学校が数校あります。現地の政府と日本人学校設立に関わる日本人会の尽力がなければできない取り組みだと思います。

ここまで読んでいただくと、これを書いている私を想像していただけるかと思います。現在完全退職し常滑市の国際交流事業に参加させていただくことになりました市内在住の澤田 治です。私は湾岸戦争のころにはアラブ首長国連邦ドバイ日本人学校に赴任していました。2016年3月公立学校教員を退職、文部科学省シニア海外派遣事業で、メキシコ、アグアスカリエンテス日本人学校で2年間勤務しました。

雑学を一つ、日本の暑さのピークは7月末から8月ですが、同じ北半球でも国により暑さのピークは異なります。雨季・乾季、北回帰線より南などの地形要素により、メキシコの内陸高地は4月末が暑さのピークです。5月に入ると雨季に入り種まきのシーズンになります。



Aguascalientes 日本人学校 2017年  
標高 2000m 程度の土地のため空が青いです。



Cenote ユカタン半島の洞窟内 2018年  
透明度抜群の淡水洞窟に潜りました。